

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋大学	・国際開発研究科による開発途上国の貧困削減と経済社会発展に関する研究(1)		https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/
名古屋大学	・国際開発協力分野で活躍するグローバル人材の育成と開発途上国の社会経済行政分野で国づくりを担う中核人材の育成(1)		
名古屋大学	・トランスフォーマティブ生命分子研究所による食糧・エネルギー問題にむけた基礎研究(2)		http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/ia/about/
名古屋大学	・医学系研究科・医学部附属病院で国内外のユニバーサルヘルスカバレッジへの貢献(3)		https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/news/news/2014/03/28163330.html
名古屋大学	・アジアサテライトキャンパスの設置(4)		http://asci.nagoya-u.ac.jp/japan/
名古屋大学	・男女共同参画推進のためのセンター(拠点)の創設(5)	・男女共同参画推進のためのセンター(拠点)の創設(5)	
名古屋大学	・2020年までに女性リーダー比率(管理職)20%への増加を目指す(5)	・2020年までに女性リーダー比率(管理職)20%への増加を目指す(5)	http://www.kvodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/
名古屋大学	・男女共同参画推進のための産学官連携を推進(5)	・男女共同参画推進のための産学官連携を推進	
名古屋大学	・省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発(7)		http://www.ganpro.imass.nagoya-u.ac.jp/index.html
名古屋大学	・人がつながる”移動”イノベーション拠点の設立(9)		http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/
名古屋大学	・モンゴル国立大学・名古屋大学 レジリエンス共同研究センターの設立(11)		http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/CCRR/index.html
名古屋大学	・減災連携研究センターによる産官学民の地域密着型の様々な連携による取組(11)		http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/
名古屋大学	・フューチャー・アース研究センターの設立(13)(15)		http://futureearth.nagoya-u.ac.jp/about/
名古屋大学	・法政国際教育協力研究センターによるアジアの国々の国づくりのための法整備支援(16)		http://cale.law.nagoya-u.ac.jp/
名古屋大学	・指定国立大学法人としてのコミットメント(17)		http://www.nagoya-u.ac.jp/info/upload_images/shiteikoku2018.pdf

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋工業大学	被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため入学検定料の免除を行っている。(4)		https://www.nitech.ac.jp/examination/sokuhou/7020.html
名古屋工業大学	【工場長養成塾】 東海地域の中堅・中小企業の生産ライン管理者育成の「製造中核人材育成プログラム」と「経営中核人材育成プログラム」を併設した社会人材育成プログラム「工場長養成塾」を実施している。(4)		http://kojochou-iuku.web.nitech.ac.jp
名古屋工業大学	学生、教職員等の学内者及び来訪者が等しく教育研究等の活動ができるよう、その障害要因を解消することを目的とし、整備を行う。(4)		「名古屋工業大学障害学生支援の基本方針」 https://www.nitech.ac.jp/campus/challenged_support.html 名古屋工業大学バリアフリーマップ https://www.nitech.ac.jp/access/files/barrierfree_map.pdf
名古屋工業大学	【学習ポートフォリオ】 教員、学生双方での履修計画・習得状況の確認や要素別GPAIによる修学成果の可視化を行い、その達成度評価に基づき個別修学指導を行っている。(4)		
名古屋工業大学	【ダイバーシティ推進センター】 工学系分野で未だ少数派である女性研究者・技術者が個性と能力を十分発揮し活躍できる環境の整備とそれを実現するための意識変革を推進する。(5)		https://www.nitech.ac.jp/diversity/index.html
名古屋工業大学	クリーンエネルギーに関する幅広い教育と研究を行っている。(7)		環境に関する教育と研究 https://www.nitech.ac.jp/intro/kankyo/files/4-2018.pdf 窒化物半導体マルチビジネス創生センター http://nitride-center.web.nitech.ac.jp/wordpress/ 極微デバイス次世代材料研究センター http://www.nitech.ac.jp/gene_inf/g60/g60_050/RENDES.html http://tic.web.nitech.ac.jp/
名古屋工業大学	【産学官金連携機構】 グローバル社会に求められるニーズの素性を捉え、技術の価値化に関する基盤的支援を通じ、持続的な地域の発展と産業振興に産学官金連携の中軸として最大限の貢献をする。(9)		http://adpec.web.nitech.ac.jp/
名古屋工業大学	【木造住宅耐震リフォーム達人塾】 木造住宅の耐震改修に携わる建築技術者、耐震診断や改修に係る事務を担当する市町村職員等を対象とした講習会を全国各地で実施している。(11、13)		
名古屋工業大学	タイ王国産業集積地のレジリエンス強化を目指したArea-BCM体制の構築(9、11、13)		
名古屋工業大学	【コミュニティ創成教育研究センター】 工学と人文社会科学の融合を通じ、高齢社会において、全ての世代の人々が積極的に関係し、協力することができるコミュニティを実現するための支援技術等に関する研究を行うとともに、当該コミュニティの実現を担う人材の育成を行う。(6、11)		http://community.web.nitech.ac.jp/
名古屋工業大学	ボホール州トゥピゴン市(フィリピン)における予防/準備/対応/復旧に関する防災能力向上プロジェクトの実施。(2、13、17)		https://www.nitech.ac.jp/int/news/5127.html

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
豊橋技術科学大学	<p>豊橋技術科学大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「平成30年度産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）」の共創プラットフォーム育成型に申請し採択されました。</p> <p>豊橋技術科学大学を幹事機関として、産学官連携（研究機関1機関および民間企業6社）で提案した技術・システム革新シナリオ構想「物理・化学情報をミクロンレベルで可視化するマルチモーダルセンシング技術の創出」を推進していきます。</p> <p>(9)</p>	<p>豊橋技術科学大学が世界で初めて開発した「イオンイメージセンサ」の技術をベースとして、様々な物理現象や化学現象をリアルタイムで可視化する革新的な「マルチモーダルセンサ」の実現を目指します。</p> <p>そのために必要な、3つの要素技術</p> <p>① ミクロンレベルの分解能を可能とするマイクロチップ設計製造技術 ② 複数の物理・化学現象を同時に観測するマルチモーダルセンシング技術 ③ 様々な事象の変化をリアルタイムに検出する技術</p> <p>を、幹事機関である本学と、研究機関1機関および民間企業6社が参画する「マルチモーダルセンシング共創コンソーシアム」の活動を通して創出し、IoT、AI時代を支える“データ”の価値を飛躍的に高めるセンサの実現と、医療・バイオ・化学分野等の高度情報化に向けた基幹産業の創出・育成につなげていきます。</p>	

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
豊橋技術科学大学	<p>文部科学省により2014年度に創設された「スーパーグローバル大学創成支援事業」は、わが国高等教育の国際競争力の向上のため、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進める、世界トップレベルの教育研究を行う「トップ型大学(タイプA)」と、わが国社会の国際化を牽引する「グローバル牽引型大学(タイプB)」をそれぞれ重点的に支援するもので、豊橋技術科学大学はタイプBに採択されました。</p> <p>この「スーパーグローバル大学創成支援事業」において、世界の技術科学を先導する高度技術者「グローバル技術科学アーキテクト」を養成する、国際通用性が高い「多文化共生・グローバルキャンパス」を以下の取り組み(3つの柱)を通じて実現します。</p> <p>(4, 10)</p>	<p>「多文化共生・グローバルキャンパス」の核となるのが、グローバル技術科学アーキテクト養成コースの新設にあわせて、日本人学生と外国人留学生が生活を共にする、収容人数180名のシェアハウス型グローバル学生宿舎(TUTグローバルハウス)です。ここでは多様な国籍・文化・価値観が共生する場となり、日本人学生と外国人留学生が英語を共通語としたバイリンガル環境で共に生活することで、グローバル社会に必要な人間力を養うSDGsの目標に沿った取組です。</p> <p>1棟3階建て30名収容6棟と集会棟1棟で構成され、1つのユニットは5名の個室と共有のリビング・ダイニング・キッチン、シャワールームを備えています。平成29年のコース開始にあわせて2棟と集会棟1棟を完成、3期に工期を分け、平成31年3月末までにすべての建設工事を終える予定です。既設の学生宿舎(収容人数約600名)に隣接して建設し、両方合わせて約800名の学生がキャンパス敷地内で生活することとなります。これにより、学生総数の36%の学生が学生宿舎に入居し、そのうち25%が外国人留学生となる見込みです。</p> <p>グローバルな資質・人間力・教養力・リーダーシップを涵養する教育型宿舎として、ハウスマスター、学生のレジデント・アシスタントや教職員も居住して、学習支援プログラムや多様なイベントを企画・実施しています。その活動はグローバル学生宿舎に留まらず、周囲の既存の学生宿舎とも一体的に行なわれ、これにより多様な文化の食・住・学が近接共存する特区が構成され、キャンパス全体へ波及し、多文化共生・グローバルキャンパスを実現することを目指しています。</p>	<p>http://www.sgu.tut.ac.jp/</p>

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
豊橋技術科学大学	<p>豊橋技術科学大学は、技術科学に関する教育と研究を通して社会に貢献することを使命としています。この使命とともに、第三の使命として、「人材育成や地域課題を解決する取組などを通じて地域に貢献する」ことを掲げています。このことは、第3期「国立大学法人豊橋技術科学大学中期目標」の前文においても「社会貢献、連携の目標」として掲げ、「技術科学の成果を広く活用して、種々の組織との連携のもと、社会が抱える課題の解決に努めるとともに、地域社会の活性化に貢献します。」と謳っています。このため、従来の社会連携推進本部を拡充し、28年度から社会連携推進センターを発足しました。</p> <p>本学は地域の強い要望と支援により設置された経緯から、開学当初より「社会貢献」に積極的に取り組んできており、市民向け講座、小中高校生向け講座、各種人材育成等の各種事業を実施してきましたが、社会人向けの人材育成プログラムや、理工系の人材育成プログラム等、地域社会の活性化、教養・文化の向上、科学技術系人材の育成につながる活動を拡充させています。どのような講座を開設すればよいか、どのような地域貢献が望まれているか等について、地域自治体、企業、商工会議所、教育・研究機関、NPO法人等と連携し、地域の皆様からの意見や要望を積極的にとり入れて見直しを図っています。</p> <p>(4, 7, 9, 11, 17)</p>	<p>社会人向け教育プログラムとして、 A) 産業技術科学分野: 先端ものづくりなど産業イノベーション人材の育成 B) 地域社会基盤分野: 農業、防災、環境など地域課題解決に資する地域イノベーション人材育成</p> <p>の区分で様々なプログラムを社会人に提供しており、いずれもSDGsに掲げる目標に沿った内容となっております。</p> <p>とくに、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定した「職業実践力育成プログラム」(BP)には3件のプログラムが認定されております。</p> <p>○平成27年度認定プログラム 「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」(平成28年12月開講) 詳細説明 http://www.recab.tut.ac.jp/index.html</p> <p>○平成28年度認定プログラム IT食農先導士養成プログラム「最先端土地利用型IT農業コース」(平成29年12月開講) 詳細説明 http://www.recab.tut.ac.jp/index.html</p> <p>○平成29年度認定プログラム 「東三河防災カレッジ」(平成30年10月開講) 詳細説明 http://www.carm.tut.ac.jp/</p>	<p>http://www.sharen.tut.ac.jp/</p>

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋市立大学	地域全体の災害医療体制の強化(3)(11)	災害拠点病院として南海トラフ巨大地震等の災害に備えるため、名市大病院災害医療センターを中心に、関係機関とともに地域災害医療検討会議を開催し、合同訓練を実施するなど、病院の枠を越えた地域全体の災害医療体制の強化への取り組み。	https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/
名古屋市立大学	高度先進医療の提供(3)(4)	医学部、薬学部、看護学部を有する公立大学の附属病院として、800床の病床、31の診療科を有し、充実した医療の提供体制の下、多くの患者さんの治療を実施。教育研究機関であるとともに、高度で先進的な医療を提供することで、名古屋都市圏の医療に貢献。	https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/
名古屋市立大学	認知症や発達障害などに関する先進的な研究の充実(3)	社会的に大きな関心が寄せられている発達障害、うつ病などの精神疾患、超高齢社会で増大する加齢脳疾患(認知症・脳梗塞等)などの発症機構解明と予防・治療法開発のため、先進的な研究を推進。	
名古屋市立大学	医療分野での革新的機器、システムの研究開発等の実施(9)	医療分野における革新的機器、システム等の研究開発、臨床研究及びこれらに必要な人材の育成を実施する拠点として、「医療デザイン研究センター」を院内に立ち上げ、医療福祉環境の向上と地域社会の発展に貢献。	http://www.kunimoto-design.jp/mdrc/index.html
名古屋市立大学	不育症についての総合的な取組みを推進(3)	医学研究科に「不育症研究センター」を設置し、また、附属病院に専門外来として「不育症外来」、名古屋市の不育症相談事業として「豆柴ダイヤル」、「不育・不妊センター」を設置するなど、医学研究科と附属病院とが一体となり「研究」「臨床」「相談」など、不育症についての総合的な取組みを推進。	http://www.nagoya-cu.ac.jp/med/labo/infertility/rc_recurrent_pregnancy_loss.html
名古屋市立大学	環境要因が子どもの健康に与える影響の調査を推進(3)	医学研究科に「母と子どもの健康・環境総合研究センター」を設置し、同センターが「エコチル調査愛知ユニットセンター」としてエコチル調査基本計画に規定されている「ユニットセンター」機能を担う組織として位置づけられ、環境要因が子どもの健康に与える影響の調査(エコチル調査)を推進。	http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/ecoaichi/pages/index/3
名古屋市立大学	共同利用・共同研究拠点、共用機器センター、(主に)天然物資源の創薬展開の支援(スクリーニング等)(3、4、9)	共同利用・共同研究拠点は、大学発の創薬を目指す研究所として創薬基盤科学研究所を設立し、全学的な共同利用研究施設として整備を進めるとともに、国内外における研究拠点として多くの共同研究を推進してきた。なお、平成28年に文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に認定されており、全国初の創薬から入口から出口までをカバーする特色ある拠点として、全国レベルでの共同利用・共同研究を進めている。	https://ncu-sovaku-kiban.jp/
名古屋市立大学	生物多様性研究センターにおける生物多様性の科学的理解と保全及び普及啓発に関する活動(9、11、14、15)	生物多様性の科学研究を目的に活動	http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/biodiv/
名古屋市立大学	所属教員、学生、研究員の各種研究成果(1~17)		https://ncu.repo.nii.ac.jp/

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋市立大学	高校生と大学生が日頃の学びの成果をSDGsの目標に関連させて報告する(1~16)	名古屋市立高校・地元NPO・自治体と連携して、サステナビリティ・リレーシンポジウムを開催している。	
名古屋市立大学	高校生と大学生が共同で持続可能な都市づくりのために案を考え、発表する(17)		
名古屋市立大学	「なごやか」事業への参画、地域参加型学習の実施(3、4)	医薬看連携地域参加型学習は、医学、薬学、看護混合のチームを作り、チームごとに地域・病院などに赴き、そこにこける課題・問題などに対して学生が主体にアプローチをし、解決を目指すことを学習。合わせて、異なる学部の学生がチームを組むことで、早期からチーム医療の大切さを学ぶ。	https://nagovaka-model.jp/
名古屋市立大学	教養教育での取り組み(3)(4)(5)	本学教員の研究の最先端に触れることができる、NCU先端科目を開講	
名古屋市立大学		健康と福祉の向上をめざす、教養教育科目を開講	
名古屋市立大学		ジェンダー教育といった「ワークライフバランスとダイバーシティ」などを開講	http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/wlb/education.html
名古屋市立大学	専門教育での取り組み(3,4,10,11,12,15,16)	「グローバル経済環境保全」の授業実施(ビデオ「地球が壊れる前に」の視聴・パラダイムチェンジとしての地球環境倫理・グローバル経済の実態・熱帯雨林開発とわたしたちの暮らし・公正な地球社会に向けて—富裕国の責任を考える・環境保全を考慮したエコ農業政策と科学的評価・心理学から見た公正・まとめのグループ発表)	
名古屋市立大学		「多文化共生の心理学」の授業実施(「多様性理解」に関するビデオ視聴・多様性に関するワークショップを実施し、多様性とはどういう状態であるか、多様性を促進・阻害する人々のふるまいについての理解を深めた・政治力に関するワークショップを行い、対人関係に埋め込まれた政治力とその格差について理解を深めた・「いのちの持ち物検査」ワークショップを実施し、難民への理解を深めた)	
名古屋市立大学		ワーク・ライフ・バランスをテーマに経済学部と人文社会学部で合同ゼミを実施。インタビュー集	http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/files/20180523/2danintabyu20180320.pdf
名古屋市立大学		名古屋市立大学公開講座への部局からの講座	http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/files/20170705/workpdf.pdf
名古屋市立大学	市民公開講座など(4)		https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/index.html
名古屋市立大学		[サイエンスカフェ] 毎月実施、通算136回(2018.10時点)	http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html
名古屋市立大学		「中高生向けサイエンスカフェ」 中高生に限定したサイエンスカフェ、年1回実施、名古屋市科学館との連携	http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/news/scicafe20180708/

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋市立大学		「サイエンスパートナーシップ講演会」 名古屋市科学館と連携した生命科学の啓蒙を行う 中高生向けの講演会・交流イベント	http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/news/20181209sciencepartnership/
名古屋市立大学		ひらめき☆ときめきサイエンス	http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/hirameki/013276.html
名古屋市立大学			http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/hirameki/013279.html
名古屋市立大学		「大学丸ごと研究室体験」 市立高校生が大学の研究室で研究体験	http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/press/release/files/20180713/300717.pdf
名古屋市立大学	市民公開講座、薬学教室の実施(3、4)	薬学教室は、地域の小中学生を対象に、化学実験や調剤実習を体験を通じ、薬学の魅力について体験することができる教室の開催。学生が参加者のサポートにあたることで、大学(生)を身近に感じてもらえる場ともなる。	
名古屋市立大学	講演会等を実施(3)(4)(11)	「名古屋市円頓寺商店街の奇跡」(住み続けられた持続可能な再発展の商店街を取り上げて、住むことや生活空間としての商店街について議論)	
名古屋市立大学	同窓会組織、薬剤師会などとも連携した学び直し講座(3、4)		
名古屋市立大学	ようこそ大学へ！施設の子どもたちへの学習支援(4)		http://www.nagoya-cu.ac.jp/human/blog/012614.html
名古屋市立大学	わかばくらぶ:発達障害をもつ子どもとその保護者を対象とした音楽遊び、運動遊び、製作等の親子遊び教室の実施。(3)		
名古屋市立大学	アクティブラーニングルームの開設(4)		http://www.nagoya-cu.ac.jp/affiliate/library/vamanohata/news/006185.html
名古屋市立大学	男女共同参画ランチミーティング(5)		
名古屋市立大学	独自奨学金制度の実施(1、4、8)		
名古屋市立大学	秋入学、英語講義導入、海外留学生・研究員の積極的受入等(4、9、10)		
名古屋市立大学	田辺通キャンパス改築に伴う、 ・バリアフリー設計(4) ・省エネ設計(取り組む含む)(12、13、14、15) ・緑あふれるキャンパス設計(11)		
名古屋市立大学	総合生命理学部の新設(4、6、7、9、11、12、13、14、15)	東海3県で76年ぶりの理学部の新設、基礎科学教育の強化と知識・技術の社会還元	http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp
名古屋市立大学	市科学館とのサイエンスパートナーシップ(17)	名古屋市立大学と名古屋市教育委員会との連携協力に関する協定に基づき、次代の科学系・技術系人材の育成および地域社会の発展に寄与するため2016年に締結	http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/press/release/files/20160331/280323.pdf

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋市立大学	環境憲章・環境アクションプランの策定・実現(7,11,12,15)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の低減と環境の保全に努めるため、名古屋市立大学環境憲章及び環境アクションプランを定め、その実現に努めている。なお、活動の成果は環境報告書として毎年度取りまとめたり、本学ウェブサイトにおいて公表している。 	https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/environment/report/index.html
名古屋市立大学	女性研究者へのより働きやすい環境整備(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の強化 男女共同参画及び女性研究者支援の一体的な推進を図るため、平成26年度に「男女共同参画推進センター」を設置し、センター長である副学長の下、全研究科・学部・病院から選出されたセンター員により、全学的に施策・事業を推進している。 ・環境の整備 平成23年度より出産・育児・介護等を行っている教員に対して、研究補助員を配置する研究支援員制度を継続して実施したほか、平成24年度に「ワーク・ライフ・バランス相談室」を開設し相談体制を整えるなど、育児と仕事の両立支援のための環境整備に努めている。このように、雇用環境の整備を進めた結果、平成26年11月に次世代育成支援対策推進法に基づく、くるみんマークの認定を、県内の大学では愛知教育大学に続いて受けるに至っている。 ・積極的な登用 各研究科で教員の公募を行う際に、『採用又は昇任においては、「業績と能力」が同等であると認められるならば、女性を積極的に採用する又は昇任させる』旨を明示するなど、ポジティブ・アクションを全学的に取り組んでいる 	https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/gender/index.html

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
愛知大学	<p>・この間、大学の三遠南信地域連携研究センターが、「とよがわ流域圏」、東三河地域、「三遠南信」地域のESD及びSDGsの課題と対策について検討している。</p> <p>(8.11)</p>		http://www.aichi-u.ac.jp/san-en/
椋山女学園大学	<p>大陸を越えた学び合いによるSDGsとしての水・気候変動教育の創出～日本・フランス・ブルキナファソの子どもたちの学び合いを通して～本プロジェクトは、椋山女学園大学附属小学校が、ブルキナファソへ、2010年に全校分の机といすを贈ったことを機に、ル・クルーゼ学園小学校との交流が始まり、同じく支援しているフランスの学校とも連携し、大陸を越えた水プロジェクトが始まった。それ以来、長年継続している中で、日本・フランス・ブルキナファソの子どもたちによる水の学び合いを通じた3か国それぞれの合唱「I LOVE WATER」を2015年に椋山女学園大学で発表し、2016年には、ブルキナファソの児童と教師を招聘し、日本とブルキナファソの合同のミュージカル「I LOVE WATER～人と水の精の物語」を名古屋で上演した。このミュージカルでは、パリ協定を受けて、気候変動問題に加え、フランスも映像で出演し、子どもたちからのメッセージを表現できた。</p> <p>この水・気候変動問題は、地球的課題でもあり、地域の課題でもある。そこで、日本では、企業と大学が連携し、小学校への出前授業を行った。</p> <p>2017年度は、アサヒ飲料のキャラクターであるエコロン、ニコロンが登場する「水と森の物語」を作成し、2018年度は、「異常気象の物語」を宇土ゼミで、作成し、小学校でのSDGsの教育を水と気候変動をテーマに実施した。この物語から生まれた関心を理科的な過実験や土砂崩れをジオラマで実際に引き起こしたり、個々の行為が地球温暖化につながり、異常な積乱雲や台風が発生する現象になったりすることを見える可したりしている。更に、自らの価値観や日常的な生活を問い直し、実際にどのような行動をしたらよいかをゲームを通して学べるプログラムを開発してきた。この出前授業の手法は、新しいカリキュラムマネジメントのプロジェクト学習でもあり、大きな成果を引き起こし、実際に様々な災害に対する防災教育にもなっている。</p>	<p>1) 地域と連携したSDGsの取り組み2015年から団地と連携し、東海地方のジオラマを作り、SDGsの水・気候変動問題と交通問題に関わるモビリティマネジメント教育の実践を「西山っ子地球子ども広場」として、月2回ずつ行って来た。</p> <p>2) SDGsの課題である水・気候変動教育を学校に具体的に提示 今までの水の学習と違い、身近に迫ってくる異常気象で、水・気候変動教育が喫緊の課題として重要性が増している。防災・減災教育における水・気候変動問題の学習内容、教材開発、方法論の創出が必要である。この課題への日本国内と世界での教育の理論と方法論を学校に提示する</p> <p>3) 水・気候変動教育の動向調査と大陸を越えた教育方法論の提示 世界各地でも展開され始めた気候変動教育を調査すると同時に、既成の教育方法論の根本的な問い直しとICTや映像技術なども活かし、大陸を越えた新たな学び合いの方法論の開発を行った。大陸を越えてミュージカルを創り、メッセージを発信した成果を生かし、気候変動問題の体験的学びと大陸を越えた学び合いを世界に発信する方法を探究し、実践を創り出す。(13)(6)(11)</p>	
椋山女学園大学	<p>また、地域にある団地(UR)との連携で、水・気候変動問題に対応する持続可能なまちづくりを大きなジオラマの作成と様々な気候変動によって引き起こされる事態に対応する活動を実施している。これらの活動に対して、パリ日本文化会館からフランス公演・発表会の誘いがあり、実施することにした。水と気候変動の問題は、世界的な規模での異常気象に現れているように、喫緊の課題として日々の生活に大きな影響を及ぼす事態となっている。国連持続可能な開発サミットで決められた2030年までのSDGsの達成のために、具体的な教育を提起していきたい。(6)(13)+(11・15・17・10)</p>		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
星城大学	1) 女性輝きカンパニーを推進する取り組みを進め、2016年3月31日愛知県知事から、知県の教育機関として初めて、「女性輝きカンパニー」として認証を受けた。あいち女性輝きカンパニーの制度は、女性の活躍促進に向け、トップの意識表明や採用拡大、職域拡大、育成、管理職登用のほか、ワーク・ライフ・バランスの推進や働きながら育児・介護ができる環境づくりなどの取り組みを行っている企業等を、愛知県が認証する制度であり、2016年3月31日現在、本学をふくめわずかに71の企業が認証されていたが、5大学を含め、469社が認証されている。本学は、50社の愛知の女性輝きプロモーションリーダー企業のひとつとして活動している。 (SDGs17目標:5)		http://www.seijoh-u.ac.jp/news/2016/04/11/post-245.html http://www.seijoh-u.ac.jp/news/2017/11/18/2017-147.html
星城大学	2) 東海市の生んだ、偉大な学者・実践的指導者細井平洲の思想と実践について、学内8名の研究者が結集し、アクション・スタディを行っている。(SDGs17目標8および11)		
大同大学	高齢者の生きがい意識とまちづくり活動(3) 食品バイオマスを用いた重金属排水処理(6) 愛知ブランド企業における広報研究(8) 高齢者向け外出支援活動(MAP企画制作)(11) 高齢者見守り活動啓発活動(動画企画制作)(11) 生活道路の抜け道交通対策(11) 地盤環境の修復技術開発(15)		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
中部大学	貧困者・家庭への支援(1)	SDG1.2に対応する子供の貧困・貧困の連鎖やセーフティネットに関する研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/407b360daf2dc392033fe39c9b3132f29e0b7ef6.html
中部大学	貧困問題とセーフティネットの構築(1)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/8e8270955d7e686c47a05098ea4865d37a40c5f4.html
中部大学	子供の貧困と法的救済に関する研究(1)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/2a45534208a3af11259128495a59dfefb1c3e11b.html
中部大学	ユビキタスGeoinformaticsとその農業、災害、環境問題等への応用(2)	SDG2.3、2.4、2.5の農業および食糧の持続可能性問題に対応する研究	http://www.hondalab.net/
中部大学	農作物の成分から紐解く新たな価値の創出 -おいしさと環境へのやさしさの追求-(2)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/wada_toshio/
中部大学	地元農産物をもつ機能性の解析と調理・加工への応用(2)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/kusano_yuri/
中部大学	ウイルスによる膜融合誘導の分子機構の解明(3)	SDG3.3、SDG3.Dに対応する感染症研究や生活習慣病に関する研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/d6b3a1523467a11006791a1828174b5f43f80a12.html
中部大学	老化や生活習慣病発症における体熱制御の役割とその分子機構の解明(3)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/00c58411b9436c50b3506ad5466a895e79d608cb.html
中部大学	細菌の病原因子に関する研究(3)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/miyata_shigeru/
中部大学	ESD(持続可能な開発のための教育)推進のホールスクールアプローチ(学園活動)(4)	SDG4.7(ESD)に対応する併設校を含む学園全体のESD推進を担うESD連携統括部会活動および学内外のESD推進活動	http://www.isc.chubu.ac.jp/esd/
中部大学	ESD(持続可能な開発のための教育)の学内推進および地域連携活動(中部ESD拠点や愛知学長懇話会サステナビリティ企画委員会等の地域ネットワーク支援)(4)		http://www.isc.chubu.ac.jp/esd/
中部大学	ものづくり教育における安全衛生プログラムの開発(4)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/1ccb04efb8b33e5497e35fd2b923cd9a494df0a.html
中部大学	科学とジェンダー(5)	SDG5.2に対応する国際的なジェンダー研究および歴史的アプローチによる研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/af8bf958b5bd99d56ea0ab3732af18958b6b6d43.html
中部大学	国際ジェンダー関係論(5)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/66de96154c1fe68ff4c62a59799bee4c1d051873.html
中部大学	近代フランス文学・思想におけるジェンダー(5)		https://researchmap.jp/read0132088/
中部大学	都市河川および河口域の水環境問題(6)	SDG6.6に対応する水に関連する生態系の保全等の研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/e2e30182e8afea0fc8714dab7ee4f9d86e6556fe.html
中部大学	陸水の役割とその環境保全(6)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/murakami_tetsuo/
中部大学	貯水池及び河川の水環境水理、都市域における氾濫解析(6)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/d51f699367f74e9283bc750b5688e9db65f6be51.html
中部大学	超伝導直流送電システムの研究(7)	SDG7.1、7.2、7.3に対応する再生可能エネルギー開発、エネルギー効率改善研究等	https://www3.chubu.ac.jp/organization/institute/sustainable_energy/
中部大学	エネルギーマネジメントによる建物の省エネルギー(7)		http://www.yamaha-lab.jp/home
中部大学	微細藻類におけるエネルギー生産性向上技術の開発(7)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/aichi_makiko/
中部大学	標準化を担う人材の育成、標準化と産業政策(8)	SDG8.4に対応する経済成長と環境悪化の分断を図る産業構造研究等	https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ito_kavo/
中部大学	民主的な企業変革と事業承継に関する研究(8)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/a56c5b02ecec1ed1deffa863dbd9e0c1bcd69f63.html
中部大学	環境マネジメントシステムを活用した企業の経営革新(8)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/b9d40e45bba8ba7162e2cecca44f629a7ebc1758.html
中部大学	分子性触媒研究(9)	SDG9.1、9.4に対応する技術革新による持続可能性向上に関連する研究等	https://www3.chubu.ac.jp/catalyst/member/hisashi_yamamoto/
中部大学	組み込み用学習エンジンの開発と応用(9)		http://sakura.cs.chubu.ac.jp/index-j.html
中部大学	不整地用歩行ロボット～強化学習による行動獲得(9)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/6640b75569c294e85c23756940eb9db65a49941a.html
中部大学	先進国の金融不安定性と途上国の通貨危機、途上国の債務問題(10)	SDG10.6に対応する国際金融制度に関する研究および教育や安全の権利に関する研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/a26701d40711457618171cf4fbca219130300817.html
中部大学	オランダにおける「教育の自由」の理論と実践の研究(10)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/2d71f4080c4f76ca418eeec3c0cdf25c4ca248ea.html
中部大学	人間の安全保障研究(10)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/66de96154c1fe68ff4c62a59799bee4c1d051873.html
中部大学	地盤災害の軽減に向けた予測・対策に関する研究(11)	SDG11.2に対応する都市交通や11.6に対応する大気質、11Bに対応する防災・減災研究等	https://www3.chubu.ac.jp/faculty/sugii_toshio/
中部大学	QOLと低炭素・低費用が同時成立するスマートシティ(11)		https://www.isc.chubu.ac.jp/havashi/
中部大学	大気微粒子(エアロゾル)と地球環境科学(11)		http://www.isc.chubu.ac.jp/kawamura/
中部大学	天然素材から抽出する生理活性化合物の研究(12)	SDG12.2の天然資源の持続可能な管理と利用に対応する生産活動に関連する研究等	https://www3.chubu.ac.jp/biology/departement/biochemistry/research/woo/
中部大学	燃焼灰の構造解析による燃焼条件の最適化(12)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/884e686c5cdfbaf4d4c36227cfc7abb1a49d1886.html
中部大学	環境順応型機能材料の開発とその応用(12)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/6427eee51ebddf9fafd977d8d91b6a433ee391a4.html
中部大学	「グリーン・ニューディール」と低炭素社会(13)	SDG13.1に対応する気候変動に対する適応力の強化等に関する研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/7cc8fb66ad971c3cb2ca6e078fcbfb28dc25e829.html
中部大学	地域における地球温暖化の適応策に関する研究(13)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/25d03f0929efb38a451215eccc9c20007392ff.html
中部大学	ライフサイクル思考に基づく環境負荷の定量化(13)		https://researchmap.jp/naoki_shibahara/?lang=japanese
中部大学	海洋生態系の生物多様性に関する研究(14)	SDG14.1の海洋汚染防止に対応する海洋プラスチック汚染研究や海洋生物に関する研究等	http://www.isc.chubu.ac.jp/esd/
中部大学	海洋プラスチックの汚染防除(14)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/takei_shiro/
中部大学	生物の環境適応性進化の研究(14)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/hasegawa_koichi/

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
中部大学	土壌圏の保全・汚泥の利活用に関する研究(15)	SDG15.1、15.2、15.4に対応する生態系サービスの保全と利用に関する研究等	https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ueno_kaoru/
中部大学	生物多様性の保全とその評価方法の開発(15)		http://stu.isc.chubu.ac.jp/bio/public/Environ_Bio/labo/minami_lab/About_Me.html
中部大学	持続的森林資源管理のための森林情報の収集と公開(15)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/9462d94b6c12536a82ee3b3d38c15bd7d60bea7d.html
中部大学	中東・北アフリカ諸国の民主化とテロリズム(16)	SDG16.2、16AIに対応する移住労働・人身売買やテロリズムに関する研究等	https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/dd707f3e36b93b1851c753f5b9fdabc43f9d4534.html
中部大学	搾取的移住労働と人身売買(16)		https://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/66de96154c1fe68ff4c62a59799bee4c1d051873.html
中部大学	ベトナム戦争とジャーナリズム(16)		https://www.yuki-iwama.com/
中部大学	中部大学SDGsシンポジウム(中部大学ESDシンポジウムシリーズ)の開催(17)	総合的SDGs活動(SDG17):SDG1~16の個別達成およびSDGsの同時達成・相互連関に向けた分野横断型/マルチステークホルダー参加型活動	http://www.isc.chubu.ac.jp/esd/
中部大学	持続可能社会実現のためのデジタルアースの構築と利用 - Geo-Informaticsからのアプローチ(17)		http://gis.chubu.ac.jp/
中部大学	ESD(持続可能な開発のための教育)によるSDGs達成手法に関する研究(17)		http://www.isc.chubu.ac.jp/esd/
中部大学	SDGsにかかる政策評価(17)		https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ito_kayo/
中部大学	中部ESD拠点「中部サステナ政策塾」活動(事務局:中部大学国際ESDセンター)(17)		http://www.chubu-esd.net

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
同朋大学	●地域の高齢者の健康づくり(3)	折り紙や図画工作などで手先を動かし、レクリエーションや体操などで身体を動かすなど、健康づくりを教員と学生が企画から運営までを行っている。	
同朋大学	●同朋大学社会福祉学会の取り組み(3)	卒業生・在学生・教員の研究を通して相互交流を行う場として、講演会やシンポジウムの開催、機関誌の発行などを行っている。また、日常継続的に取り組んでいる様々な分野の研究活動や地域の研究、交流研究を応援する「研究グループ活動助成事業」を実施している。	
同朋大学	●“同朋大学オレンジカレッジ”の取り組み(4)	社会福祉学部の学生が初年度よりボランティア活動への関心を高め、地域づくりの一端を担うように、同朋大学では学外研修を“オレンジカレッジ”として強化し取り組んでいる。前期は中村区で認知症の人と家族を地域で支える仕組みづくりの一環として認知症サポート養成講座を開催。後期はそれぞれのグループに分かれ、さまざまな現場(街頭募金、高齢者サロンや認知症カフェへの参加、仕事暮らし自立センターや障害者支援施設の見学など)を体験し、直接地域の方との触れ合いを通し地域福祉の実態を学ぶ。	
同朋大学	●障がい学習支援室の取り組み(4)	障がいを持つ学生たちのために、聴覚障がい学生へはノートテイクの派遣、視覚障がい学生へはリーディングテキストの点字訳など、さまざまなサポートが学生によって行っている。	https://www.doho.ac.jp/campuslife/learning-support
同朋大学	●同朋大学独自の奨学金制度(4)		https://www.doho.ac.jp/campuslife/learning-support
同朋大学	●デートDV予防講座の実施(5)	学生がお互いの人権を尊重するという基本的姿勢を身につけるとともに、大学全体(学生、教職員)がデートDVについて理解し、問題の発生を防ぎ、問題の解決力を高める。	
同朋大学	●実践力を高めるキッズカレッジ(10)	子育て支援活動キッズカレッジでは、地域の未就園児とその保護者が参加し、学生は保育実技(手遊び、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせ、歌、エプロンシアター等)などを通して、子どもとの接し方はもちろん、親との接し方も学ぶ。また保護者には毎回異なるテーマの講座を教員が提供し、保護者の学び場、交流の場ともなっている。	https://www.doho.ac.jp/kidscollege
同朋大学	●人権尊重のまちづくり事業における企画運営(5)(10)	高齢者や外国人、障害者など、すべての人々がさまざまな違いや価値観を認め合い、お互いの個性や生き方を尊重し、理解しながら共生していこうという趣旨で中村区よりの委託事業として受け、学生が主体となって企画立案から当日の運営に至るまで行っている。運営に携わることによって、学生自らが共生の意味を考える場となっている。	
同朋大学	●地域連携運営センターの取り組み(11)		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
豊田工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人学生の受入, 科目等履修生の受入, 公開講座の開催(4) ・スマートエネルギー技術研究センターにおける研究開発(7) これまで培ってきた超高効率太陽電池の研究開発や超薄型結晶シリコン太陽電池の研究開発等、太陽電池の研究開発を核に、本学の教員、研究者の知恵を結集して、エネルギー生成、エネルギー制御、エネルギーの変換・貯蔵に関する統合的研究を推進しています。 ・産学連携への取組み(9) 本学は、学則において「社会との緊密な交流連繋のもとに、豊かな人間性と創造的な知性を備えた実践的技術者を育成し、合わせて深く専門の学術を研究し、もって学術文化及び社会の発展に寄与することを目的とする」と規定しています。すなわち、社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命の一つと位置づけ、産学連携による社会貢献に積極的に取り組んでいます。 		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋学院大学	<p>1. SDGsは「かけがえのない地球」で人類が持続的でより良き生活を目指す共通の目標であるから、大学としてトータルに取り組むべき課題である。本学では、NGU教養スタンダード科目群という全学部共通の教養教育科目群の中で個別科目として展開され、多くの受講生に対する教養教育的指導が展開されている。たとえば「生態学」という科目では目標6, 7, 13, 14, 15についての具体的な情報を共有することから、17の目標全体が調和的に実現することが教育課題として与えられ、人間社会の新たな展開が期待できることを示唆している。同様の試みは他の多くの授業でも展開されている。(1~17)</p> <p>2. 上述1. のような教養基礎の上に各学部のSDGs学習は積み上げられているが、たとえば国際文化学部では、「国際協力論」「国際環境論」「国際文化支援論」や特定地域を対象とした多種の「社会論」「文化論」などの科目で、SDGsを意識した教科内容の授業が実施されている。さらに2019年度から施行される新カリキュラムでは「英語で学ぶSDGs」といった実践的科目も準備されており、学生は多くの授業科目でSDGsを多方面の視点で学ぶことができる。(1~17)</p> <p>3. そのような基礎的学習と並行して、国際文化学部では、国際協力学科生のうち希望する者を対象に、アジア諸国への「スタディーツアー」が実施され、とくに途上国における貧困、生活、教育、健康、自然の保全など、多領域にわたる現地見学と実践活動が体験できるプログラムが構築されている。この成果は、報告会を通じて学部学生全体に周知・共有されるとともに、日英文の報告書として公表されている。(1, 3, 4, 10, 11, 16, 17)</p>		<p>https://www.ngu.jp/news/20180627event/</p>
名古屋学院大学	<p>4. 以上の教育活動に加えて、本学では松浦晃一郎氏(第8代ユネスコ事務局長)を特任教授として招聘し、ユネスコ活動を中心として特別講義を実施しており、2018年度のテーマは「ESDと持続可能な開発目標SDGs」であった。松浦特任教授の講義録も発刊している。(4, 10, 11, 16, 17)</p>		<p>https://www.ngu.jp/news/20180627event/</p>

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名古屋経済大学	経済事情の急変による退学に歯止めをかけ、負の連鎖を断ち切るための未来支援基金創設(1)		https://www.nagoya-ku.ac.jp/kifu/mirai/
名古屋経済大学	マインドフルネス研究センターにおける心の健康促進活動(3)		https://www.nagoya-ku.ac.jp/mindfulness/
名古屋経済大学	地域と連携した生涯学習活動への貢献(4)		http://www.nagoya-ku.ac.jp/visit/open_college/
名古屋経済大学	インターンシップ必修化による社会人基礎力養成とマッチング精度向上への取り組み(8)		https://www.nagoya-ku.ac.jp/future/enterprise/q&a/#a1
名古屋経済大学	犬山学研究センターにおける地域資源の探求と地域活性化への取り組み(11)		https://www.nagoya-ku.ac.jp/inuyamagaku-c/
名古屋経済大学	地域連携センターにおける地域活性化への貢献(11)		https://www.nagoya-ku.ac.jp/local/

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
日本福祉大学	学生による認知症になっても暮らし続けられる地域づくりの取り組み (3) 【社会福祉学部】	○「地域研究プロジェクト」 (認知症の啓発のためのツールの開発及びそれを活用した地域での啓発活動) ○認知症サポーターの養成 (「ヒューマンケア論」の履修者全員が認知症サポーター養成研修を受講している。)	地域研究プロジェクトHP (http://www.n-fukushi.ac.jp/rrpj/)
日本福祉大学	学生とNPOとの協働による生活支援サービス開発の取り組み (3) 【社会福祉学部】	○「サービ斯拉ーニング」 (NPOの活動に学生が参加し、サービス提供に関わりながら地域課題の発掘、それに対応するためのサービスの開発に取り組んでいる。)	サービ斯拉ーニングHP (https://www.n-fukushi.ac.jp/gakubu/sl/)
日本福祉大学	車いす体験講座 (3) 【経済学部】		
日本福祉大学	クリーンキャンパスキャンペーン (11) 【経済学部】		
日本福祉大学	地域研究プロジェクト (11) 【経済学部】		
日本福祉大学	教職研究会 (4) 【経済学部】		
日本福祉大学	多文化共生社会の実現に資する体系的な学部教育と、発展途上地域での中長期のフィールドワークなどを通じたアクティブラーニングの推進および青年海外協力隊員などの養成 (1, 3, 4, 5, 11, 17) 【国際福祉開発学部】		
日本福祉大学	日本語教師養成プログラムおよびその一環としての国際福祉開発学部生によるベトナム・フィリピン・カンボジアでの日本語教育インターンにより、発展途上地域での教育水準向上に貢献 (4) 【国際福祉開発学部】		
日本福祉大学	留学生に対する日本語教師養成プログラムを通じて、卒業後の母国での日本語教育水準の向上に寄与できる取り組み (4) 【国際福祉開発学部】		
日本福祉大学	学生の自主的な地域貢献活動を通じて地域を理解し、地域から学ぶ学習の推進 (4, 11, 17) 【国際福祉開発学部】		
日本福祉大学	東海市大学連携まちづくり推進事業を通じた、地域活性化と住みやすい都市づくり活動への学生の参加と地域連携型教育の推進 (3, 4, 11, 17) 【国際福祉開発学部 (千頭ゼミ、吉村ゼミなど)】		
日本福祉大学	中津川市加子母地区での中学生との交流および未来を考えるワークショップなどを通じた、大学生と中学生との交流と相互の学びの促進 (4, 11) 【国際福祉開発学部 (千頭ゼミ)】		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
日本福祉大学	長野県上伊那郡宮田村での地域研究や、留学生と中学生との交流などを通じたアクティブラーニングの推進 (4, 11, 17) 【国際福祉開発学部 (千頭ゼミ)】		
日本福祉大学	ユニットケア型施設の介護者負担軽減の研究、取り組み (3, 11) 【健康科学部 (毛利)】		
日本福祉大学	高齢者居住施設における個室環境整備の研究、取り組み (3, 11) 【健康科学部 (毛利)】		
日本福祉大学	教育実践研究センターにおける地域における学校教育の支援に関する一連の取り組み (4)	○保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・特別支援学校等での教員研修やケース会議へ大学教員を大学の校務として派遣している。 ○保育・学校教育が直面している課題に対する講座 (オープンカレッジ) を開催している。	http://www.n-fukushi.ac.jp/crep/
日本福祉大学	福祉社会開発研究所における一連の研究の取り組み (3)		http://www.n-fukushi.ac.jp/kenkyu/kaihatsu/
日本福祉大学	知多半島総合研究所における一連の研究、社会貢献の取り組み (3, 11)		http://www.n-fukushi.ac.jp/chitaken/
日本福祉大学	知多半島生態系ネットワーク協議会の活動 (15)	知多半島生態系ネットワーク協議会として、知多半島地域における生態系ネットワークの形成に関する活動を行っている。	https://chita-eco.jimdo.com/
日本福祉大学	健康科学研究所における一連の研究、社会貢献の取り組み ①リハビリテーションに関する研究 (3) ②アシスティブテクノロジーに関する研究 (3) ③生活環境に関わる研究 (3, 11) ④ナラ枯れ防除による里山保全 (15)		http://www.n-fukushi.ac.jp/kenken/index.html
日本福祉大学	福祉テクノロジーセンターにおける一連の研究、社会貢献の取り組み (3, 11)		http://www.n-fukushi.ac.jp/kenken/fukutec/index.html
日本福祉大学	子ども発達支援室における社会貢献の取り組み (3)		http://www.n-fukushi.ac.jp/shinri/kodomo/
日本福祉大学	看護実践研究センターにおける一連の研究の取り組み (3)		http://www.n-fukushi.ac.jp/nprc/
日本福祉大学	まちづくり研究センターにおける一連の研究、社会貢献の取り組み (3, 11)		http://www.n-fukushi.ac.jp/machiken/
日本福祉大学	地域ケア研究推進センターにおける一連の研究の取り組み (3, 11)	公益財団法人日本生命財団の40周年記念特別事業「高齢社会助成委託研究」として、知多半島の5市5町をフィールドとして、0歳から100歳までのすべての人が安心して暮らせる地域包括支援体制構築に関する研究の推進	http://www.n-fukushi.ac.jp/research/rpccc/
日本福祉大学	福祉政策評価センターにおける一連の研究の取り組み (3)		http://www.nihonfukushi-u.jp/spec/
日本福祉大学	アジア福祉社会開発研究センターにおける一連の研究の取り組み (3)		http://www.n-fukushi.ac.jp/research/arc-wd/index.html

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
日本福祉大学	健康社会研究センターにおける一連の研究の取り組み(3)		http://cws.umin.jp/
日本福祉大学	スーパービジョン研究センターにおける一連の研究の取り組み(3)		http://www.n-fukushi.ac.jp/research/supervision/
日本福祉大学	権利擁護研究センターにおける一連の研究の取り組み(3)		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
人間環境大学	<p>●モンゴルのNGOを通じたMSMコミュニティへのHIV予防介入の研究(市川誠一) (本研究は国際医療研究開発事業・国際医療協力研究分野の研究費で行った) モンゴルではHIV感染者のおよそ60%をMSM(Men who have sex with men)が占めている。モンゴルにおけるHIV感染拡大を抑えることを目的に、モンゴルのMSMを対象に活動するNGOs(3団体)をカウンターパートとし、MSMのHIVや性感染症の予防、HIV検査と医療アクセスを進めるための取り組みを2010年から開始した(SDGs-No17)。 HIV/AIDSに対する偏見・差別、またLGBT(Lesbian, Gay-bisexual, transgender)に対する偏見・差別は、モンゴル社会においても存在し、MSMにHIV関連情報の啓発普及やHIV検査・医療の提供を広めることは容易ではない。 第1期研究(2010-2012年)では、MSMが参加しやすいイベント(Miss Beauty、MSM-forum)を企画し、また日本でHIV予防に取り組むNGOが開発した啓発プログラム“Living together”をモデルに、モンゴルのHIV陽性者やその周囲の人が綴った手記を用いたプログラム“We are living under the same sky(LUSS)”を開発した(SDGs-No10)。第2期研究(2013-2015年)では、集客力のあるイベントMiss Beauty、MSM-forum、そしてHIV陽性者やMSMへの偏見や差別をなくすための啓発イベントLUSSを繰り返し実施し、持続的な啓発活動に取り組んだ。第3期研究(2016-2018年)では、モンゴルNGOsは、HIV検査受検行動を促進する広報活動“Safe sex & HIV testing promotion”、繰り返しHIV検査を受検することを促進する“Re-testing Campaign”を展開した。MSMに対して「啓発による受検行動の促進⇒HIV等の検査受検の増加⇒HIV陽性者の早期治療を促すことに取り組んだ(SDGs-No3)。 本研究がNGOと協働で継続してきたことで、NGOsは2015年からThe Global Fundの支援を受けて、MSMへのアウトリーチ活動やHIV検査を提供するMSM&TGコミュニティセンターを運営している。MSM&TGコミュニティセンターでのHIV検査の受検件数は、2015年711件、2016年1092件、2017年1496件と増加している。2017年実施のインターネットを介した行動疫学調査の結果は、NGOが実施した啓発活動がMSMの受検行動や予防行動を促していることを示した。 2018年9月21日にモンゴルにて開催した研究成果報告シンポジウムでは、保健省、医療機関、関連機関、NGOの参加者から、MSMを対象とするNGO活動と本研究によるNGOと医療が連携した取り組みについて高い評価を得た(SDGs-No17)。</p>	<p>●モンゴル国NGOと医療者、および日本の疫学研究者による協働研究(SDGs-No17) ●HIV陽性者やその周囲の人が綴った手記を用いたプログラム“We are living under the same sky(LUSS)” LGBT、MSM、HIV陽性者への偏見差別を低減するプログラム(SDGs-No10) ●広報活動“Safe sex & HIV testing promotion”や“Re-testing Campaign” MSMのHIV検査受検、HIV医療へのアクセスを改善し、誰でものプログラム(SDGs-No3)</p>	
人間環境大学	<p>●モンゴルのNGOを通じたMSMコミュニティへのHIV予防介入の研究(市川誠一) (本研究は国際医療研究開発事業・国際医療協力研究分野の研究費で行った) モンゴルではHIV感染者のおよそ60%をMSM(Men who have sex with men)が占めている。モンゴルにおけるHIV感染拡大を抑えることを目的に、モンゴルのMSMを対象に活動するNGOs(3団体)をカウンターパートとし、MSMのHIVや性感染症の予防、HIV検査と医療アクセスを進めるための取り組みを2010年から開始した(SDGs-No17)。 HIV/AIDSに対する偏見・差別、またLGBT(Lesbian, Gay-bisexual, transgender)に対する偏見・差別は、モンゴル社会においても存在し、MSMにHIV関連情報の啓発普及やHIV検査・医療の提供を広めることは容易ではない。 第1期研究(2010-2012年)では、MSMが参加しやすいイベント(Miss Beauty、MSM-forum)を企画し、また日本でHIV予防に取り組むNGOが開発した啓発プログラム“Living together”をモデルに、モンゴルのHIV陽性者やその周囲の人が綴った手記を用いたプログラム“We are living under the same sky(LUSS)”を開発した(SDGs-No10)。第2期研究(2013-2015年)では、集客力のあるイベントMiss Beauty、MSM-forum、そしてHIV陽性者やMSMへの偏見や差別をなくすための啓発イベントLUSSを繰り返し実施し、持続的な啓発活動に取り組んだ。第3期研究(2016-2018年)では、モンゴルNGOsは、HIV検査受検行動を促進する広報活動“Safe sex & HIV testing promotion”、繰り返しHIV検査を受検することを促進する“Re-testing Campaign”を展開した。MSMに対して「啓発による受検行動の促進⇒HIV等の検査受検の増加⇒HIV陽性者の早期治療を促すことに取り組んだ(SDGs-No3)。 本研究がNGOと協働で継続してきたことで、NGOsは2015年からThe Global Fundの支援を受けて、MSMへのアウトリーチ活動やHIV検査を提供するMSM&TGコミュニティセンターを運営している。MSM&TGコミュニティセンターでのHIV検査の受検件数は、2015年711件、2016年1092件、2017年1496件と増加している。2017年実施のインターネットを介した行動疫学調査の結果は、NGOが実施した啓発活動がMSMの受検行動や予防行動を促していることを示した。 2018年9月21日にモンゴルにて開催した研究成果報告シンポジウムでは、保健省、医療機関、関連機関、NGOの参加者から、MSMを対象とするNGO活動と本研究によるNGOと医療が連携した取り組みについて高い評価を得た(SDGs-No17)。</p>		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
人間環境大学	<p>【該当する研究事業名】 ①科研費事業(若手研究B):「海洋保護区と麻薬取引のミッシングリンク—犯罪抑止のツールとしての自然保護区研究」(研究期間: 2017年4月 - 2020年3月) ②日本国際観光学会・(株)旅工房助成研究プログラム:「環境・貧困・犯罪—積極的平和構築のツールとしての観光研究」(研究期間: 2017年4月 - 2018年3月)</p> <p>【該当するSDGsの目標】 目標1、目標14、目標16</p> <p>【研究事業の概要】 中米のコスタリカ共和国を対象に、海洋国立公園と安全保障の関係を研究している。</p> <p>【研究の詳細】 中米のコスタリカは、近年、麻薬取引量の増加に伴って国内治安が悪化している。このような中、海沿いに立地する国立公園を始めとした自然保護区が麻薬取引の現場として利用されているとの指摘が現地報道でなされている。本研究は、なぜ自然保護区は麻薬取引に利用されてしまうのか、自然保護区の制度を巡る問題点を明らかにすることを目的としている。一方、現地の人々が望んでいるのは、制度の問題点を明らかにする作業よりも、むしろ、自然保護区の現場の治安改善である。そこで、どうしたら自然保護区の治安維持が可能になるのか、現地調査をもとに分析を行っている(関連するSDGsの目標:目標1、目標14、目標16)。</p>	<p>【成果の還元:論文発表】 武田淳(2018)「コスタリカのウミガメ観光における地域ガバナンス—積極的平和構築のツールとしての観光研究へ向けて」『日本国際観光学会論文集25,pp7-14. (査読あり)』</p> <p>【成果の還元:口頭発表】 武田淳(2016)「麻薬取引と海洋保護区のミッシングリンク—『犯罪抑止のツールとしての自然保護区』研究序説」日本沿岸域学会平成28年度全国大会 武田淳(2017)「環境・貧困・犯罪—積極的平和構築のツールとしての観光研究」日本国際観光学会第154例会(招待講演) 武田淳(2018)「コスタリカのウミガメ観光における地域ガバナンス—積極的平和構築のツールとしての観光研究へ向けて」日本国際観光学会 第25期総会(招待講演)</p>	
人間環境大学	<p>山村地域における野生鳥獣の農作物被害が深刻化し、農業を続けられなくなる人が出ている。岡崎市のニホンザルの行動調査を行い農業被害対策の基礎データを収集している(3)。 ニホンジカによる森林生態系への影響が問題となっている。愛知県森林・林業技術センターとともに、ニホンジカの生息状況および森林被害の調査を行っている(15)。</p>		
人間環境大学	<p>・授業科目「海と川の生物学入門」にて、海の豊かさを失うことに繋がる諸問題について紹介(14) ・高次捕食者であり、生息域の生態系に大きな影響を与えられられる沿岸定住性の小型ハクジラ類個体群に対し、生活史や個体群動態に関するデータを収集・研究(14)</p>		

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
名城大学	<p>下記の授業科目において、SDGsについて取り扱っています。 経営学部・経済学部(合同開講)「起業講座」(9) 経済学部「専門ゼミナール1, 2」(谷村光浩准教授担当分)(1, 4, 11, 12, 17) 「外国書購読ゼミナール1, 2」(谷村准教授担当分)(1, 4, 11, 12, 17)*1 理工学部「地圏環境学」(13) 農学部「物質循環論」(7) 人間学部「国際協力論」(1, 2, 4, 6, 8, 12) 「環境社会学」(11, 14, 15) 外国語学部「日本のツーリズム」(8, 11, 12, 17) *シラバス検索 https://www.meijo-u.ac.jp/academics/syllabus/find</p> <p>学生協力員(ピアサポーター)におけるSDGsのまなび(1, 4, 11, 12, 17) 講師:経済学部 谷村准教授 https://www.meijo-u.ac.jp/about/ms26/manabi/activity/No2017-53.html</p> <p>学芸員養成課程を受講する学生の展示企画において、経済学部 谷村准教授の支援により、SDGsの展示内容を検討中(1, 4, 11, 12, 17)</p> <p>「名城大学環境方針」を定め、省エネルギーの推進、廃棄物の適正管理、法令順守に努め、学生への環境教育にも努めています。また、環境に配慮したキャンパスづくりも進めており、ナゴヤドーム前キャンパスは、環境配慮型キャンパスのコンセプトのもと、平成27年度に竣工した。(7, 11, 12, 15) https://www.meijo-u.ac.jp/about/action/pdf/kankyoguide2017.pdf https://www.meijo-u.ac.jp/about/action/pdf/kankyoreport2017.pdf</p>	<p>経済学部ゼミナール教育(専門ゼミナール1, 2)(谷村准教授)</p> <p>「国際開発・国際協力ゼミ」での主体的研究をもとにグローバル社会へ向けた映像メッセージの制作・発信 国際開発・協力に関心を寄せる専門ゼミ生がグローバルな諸課題について主体的に研究を進めている。 専門ゼミでの活動成果を発表する場として企画・運営されている「経済学部レポート・フェスティバル」では、2015年度より、30~60秒程度を目安に制作した映像作品とともに研究報告している。また、2016年度からは、国際機関、公益社団法人のビデオ・コンテスト等への応募を視野においた作品づくりに取り組んでいる。 (1, 4, 11, 12, 17)</p>	<p>谷村ゼミナール https://www.meijo-u.ac.jp/about/ms26/manabi/activity/No2016-24.html (第5回ユニセフOne Minute Videoコンテスト「きれいな夜空」入賞)</p> <p>https://www.meijo-u.ac.jp/about/ms26/manabi/activity/No2016.html (ACジャパン広告学生賞「テレビCM部門」「新聞広告部門」奨励賞 受賞)</p> <p>https://www.meijo-u.ac.jp/about/ms26/manabi/activity/Nopost-21.html (One Minute Videoコンテスト2018 2作品入賞)</p>
		<p>女子学生のキャリア支援教育(経済学部)</p> <p>経済学部女子学生のキャリア形成・就職活動支援のため、女性経営者・先輩たちの活動やこれからの目指すべき働き方に触れることによる動機付け、ビジネスに必要な実務知識の修得、国際機関等での活動体験の提供を行うもの。 直接的にはキャリア支援教育であるが、自らの卒業後の職業生活を意識することで、経済学部の多様な経済・社会にかかわる講義を受講することの意義を再確認させる効果も期待している。 (谷村准教授担当分が該当。外国書購読ゼミナール1, 2/ 国連ハビタットの報告書等を教材として利用)</p>	<p>女子学生のキャリア支援教育 https://www.meijo-u.ac.jp/about/ms26/manabi/activity/Nopost-78.html</p> <p>http://www.econo.meijo-u.ac.jp/top_news/20181001.html</p>

SDGsに関するアンケートについて

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

	SDGsに関する取組について	特筆すべき取組	リンク先
		利用)	http://www.econo.meijo-u.ac.jp/top_news/20180601_2.html (国連ハビタット福岡本部 本部長補佐官へのインタビューなど)